

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成29年 1月30日更新

事務事業名	乳幼児健診事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 澤田 勝矢
	施策	15	健康づくりの推進		所属課	健康づくり推進課	担当者名 矢幡 茜
	施策の柱	43	病気になる生活習慣の確立		所属班	健康推進班	(内線) 2132
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	根拠 法令	成果優先度評価結果 : ②
	一般	4	1	6	10358		コスト削減優先度評価結果 : ①
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	乳幼児健診(4ヵ月、7ヵ月、1歳6ヵ月、3歳児健診)を実施し、乳幼児の健康の保持・増進を行なう。対象者へは、個人通知をしている。内容は、問診・身体計測・歯科健診・内科健診・栄養相談・歯科相談・保健相談、健診後のフォロー・未受診者のフォロー等。
【業務の流れ】	昭和40年公布された母子保健法の施行により、乳幼児の健康の保持・増進を図るために開始した。出生数の増加に伴い対象者数が年々増加しており、健診1回あたりの対象者数が多く、待ち時間が長くなっている。また専門スタッフの確保も難しくなっている。市町村保健師での情報交換や勉強会を実施しており、保健師としての質の向上に努めている。
【業務の流れ】	健診スタッフ(医師・歯科医師・看護師・保健師・歯科衛生士・管理栄養士)の確保及び覚書・臨時任用通知書を作成し、契約を結ぶ。年間出勤予定表を調整し作成、場所の確保を行なう。健診対象者名簿を打ち出し、対象者へ通知を郵送。日程はすこやかカレンダー・広報に掲載し周知を図る。健診会場の準備。健診材料の発注及び支払い事務。健診を実施し、終了後ミーティングを行なう。健診スタッフへの支払い事務。健診結果入力及び、要フォロー者・未受診者への連絡。
【主な予算費目】	報酬、賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	話を聞いてもらい、アドバイスを受け不安が解消された、安心できた、待ち時間が長かったなどの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	母子保健法に基づき、乳幼児健診を実施した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
【実績】	4ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数: 676人) 7ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数: 709人) 1歳6ヵ月児健診12回×2カ所(受診者数: 667人) 3歳児健診12回×2カ所(受診者数: 743人)	4ヵ月児健診12回×2カ所 7ヵ月児健診12回×2カ所 1歳6ヵ月児健診12回×2カ所 3歳児健診12回×2カ所 乳児健診後フォローアップ教室 6回
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 → ア: 受診者数 イ: 回数	予算の主な増減の理由 感染症予防事業の看護師1名分の報酬が、乳幼児健診事業に移行(乳幼児健診事業での活動が主のため)のため増。電算入力事務員1名を、助産師1名へ変更したことによる報酬の増。また、産休代替保健師2名分による賃金の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市民該当児	(単位) 人 → ア: 合志市民該当児	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) → イ: 健診受診率
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康を保持し、健やかに発育発達できる。	(単位) % → イ: 健診受診率	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) → イ: 健診受診率
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠 健診を受診することで、乳幼児の健康の増進を図ることになり、本事業の意図へつなげるため成果の指標とする。健診を受けられる体制を維持し、受診率が低下しないよう働きかけていく必要がある。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込
① 活動指標	ア 人		2,645	2,739	2,750	2,795	2,750	2,750	2,750	2,750
	イ 回		95	96	96	96	96	96	96	96
② 対象指標	ア 人		2,709	2,785	2,750	2,851	2,750	2,750	2,750	2,750
	イ %		97.6	98.35	98	99.2	98	98	98	98
③ 成果指標	ア 千円									
	イ 千円									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円			216	280	280	280	280	280
	都道府県支出金	千円	500	824	216	296	280	280	280	280
	地方債	千円								
	その他	千円	40	30	30	9	30	30	30	30
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	17,876	15,917	18,292	19,713	22,571	18,700	18,700	18,700
	(A) 事業費計	千円	18,416	16,771	18,754	20,298	23,161	19,290	19,290	19,290
(A)のうち指定経費	千円	11,253	9,458	11,321	10,049	10,177	10,100	10,100	10,100	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	10	11	9	11	10	10	10	10
	延べ業務時間	時間	3,535	3,185	2,000	3,408	3,400	3,400	3,400	3,400
	(B) 人件費計	千円	14,083	12,689	7,968	12,653	13,545	13,545	13,545	13,545
	トータルコスト(A)+(B)	千円	32,499	29,460	26,722	32,951	36,706	32,835	32,835	32,835

事務事業名	乳幼児健診事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 健診未受診者へは電話連絡及び訪問等を実施し、受診勧奨をおこなった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 専門スタッフを配置し、年間を通して実施予定。未受診者への連絡・受診勧奨も実施していく。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 受診率向上のため、周知の徹底及び、未受診者へは電話及び訪問を実施し受診勧奨を行った。今年度は目標達成しているため、今後は維持できるよう同様の活動をしていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 嘱託医報酬は嘱託医設置事業として、その他についても最低限の事業費で行っている。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限での人件費をあてている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 母子保健法により自治体に健診実施が義務付けされている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 生活・家庭に密着したライフスタイルの視点のもと地域に根ざした関わりが必要なため、適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

専門スタッフの協力により予定通り実施できた。今後も受診率の向上を目指して受診勧奨を行っていく必要がある。対象者数が多く、1回の健診時間も長くなってきているため、集団指導を取り入れ、必要な方へのみ個別指導を行うなど、健診時間短縮を図った。また子どもの発育発達を促すための関わり方について周知を行った。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						